

## 4378 地球のかおり：「氷河の夜明け」（産経新聞）心模様

ニュージーランド南島、マウントクック国立公園。

グリーンストーン（翡翠）は、マオリの宝物。

昔、マオリは、南島の西海岸沿岸で、翡翠を産出し、

アーサーズパス（峠）を越え、原生林を貫き、東の平野、

今の、クライストチャーチの街へと運んだとある。

この苦難の峠越えが、翡翠街道。

この西海岸には、最高峰のマウントクック（3.754m）をはじめとする

2～3.000m級の、ニュージーランドアルプスが連なっている。

フランツジョセフ氷河、フォックス氷河など・・・

2月に、北半球の日本を出発。その季節、南半球ニュージーランドは、夏。

クライストチャーチは、花いっぱい。なんかして、ダニーデン、

インバーカーギルを經由して、

ミルフォードサウンドを訪ね、そして、マウントクック国立公園へ。

ハーミテージホテルに宿泊。トレッキングを開始。

ロケハンティングの1日目。偵察やウオッチング。

3日目の朝、夜明け前に出発し、このシーンに遭遇した。

最初は、氷河の上とは知らなかった。足元が、普通ではないと、感じていた。

明るくなるにしたがって、ここは氷河の上だと気付いた。

右側は、急な山の斜面、壮大な峰々が、連なっている。

夜明けのショーの始まりだ。天空の明るさが増して行った。

すこし肌寒い程度で、心地よい雰囲気。

これからどんな展開になるのだろうか、ワクワクしたものだ。

ラッキー、スマイル、オン、ミー。

突然、一筋の光の束が、この氷河に突き刺さった。

予想などしていない。まさに、想定外。

感動と驚き。地球の不思議。鳥肌が立った。

寒さのせいではない。言葉で表現できない感動！

多くを語ると、消えてしまいそう。

日の出と夕日のスピードは、速く感じる。この輝きのシーン、まさに、一瞬だった。

ありがたいなあ、嬉しいなあ、なんという幸せ。

こんな幻想的なシーンを体験できるなんて。自然は、大芸術家。

誰に感謝すればいいのだろう。